

# —富良野消防署占冠支署からのお知らせ—

## 薪ストーブによる火災に注意！

薪ストーブが原因の火災を防ぐために、以下の点に注意してください。

### ★薪ストーブの周囲に燃えやすいものを置かない。

周囲に洗濯物を乾かすことも火災の原因になりますので十分に離してください。

特にストーブ上部に干すのは大変危険ですので、絶対にしないでください。

### ★扉や蓋を確実に閉める。

扉や蓋が開いていると、火の粉が飛散し火災になる場合があります。ストーブから離れる際は、扉や蓋を確実に閉めてください。

### ★不燃材料製のたき殻受けを設置する。

たき口からたき殻（取灰）等の火種が落ちた場合の受け皿として、たき殻受けを設置してください。取灰の中には、火種が残っている可能性があり、蓄熱により数時間経過した後、周囲の可燃物に着火する場合があります。

直接ごみ箱やダンボール箱に捨てたりせず、火が完全に消えたことを確認してから蓋のある不燃性の取灰入れに入れて処理してください。

### ★煙道火災を予防する。

煙道内にタールが溜まると、煙道内で火災が発生することがあります。こまめに煙突を清掃し、煙道からの火災を予防してください。

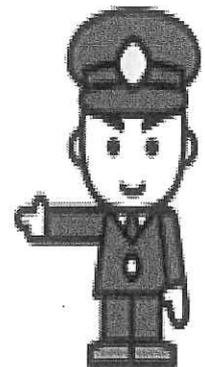
### 火災になるのはどんなとき？

#### 低温炭化

可燃物は、100℃程度の低温であっても、長時間にわたって熱にさらされると炭化し、熱を蓄積して発火することがあります。柱や床が壁内部に隠れている場合、炭化から発火に至るまでの経緯が分からず、事故が拡大することがあります。

#### 煙道火災

煙突の掃除を怠ると、タールが溜まり、ストーブが過熱したときに煙道内部で火災が起こることがあります。このとき、煙道内部の温度は1,000℃を超えることもあり、煙道周囲に可燃物があると燃焼するおそれがあります。



掲載者「木質バイオマスストーブ 取扱いガイドブック」より引用



担 当：富良野消防署占冠支署 指導係（奥平・山西・山田）

☎ : 56-2119 FAX : 56-2738